

平成 21 年度第 2 回石狩市地域包括支援センター運営協議会

開催日：平成 22 年 2 月 15 日（月）

場 所：石狩市総合保健福祉センター
りんくる 3F 視聴覚室

議事録

地域包括支援センターの運営について

介護予防支援について

事務局から資料 1(1P から 5P)「要支援者等の人数と予防支援計画についての状況の推移」及び「サービス事業者利用実績(平成 21 年 4~平成 21 年 11 月分)」について説明。

【承認事項】資料 1(1P から 5P)の各種報告について、協議会で承認を得た。

【質問・意見】なし

各センターへの相談状況等について

平成 21 年度の事業報告(中間報告)について

事務局から資料 1(6P から 19P)について説明。

【承認事項】資料 1(6P から 19P)の各種報告について、協議会で承認を得た。

【質問・意見】

- ・ 向井委員 介護保険制度が開始されて 10 年が経過するが、特に独居高齢者については介護保険の各種サービスすらも知らない事実があり、それに係るさまざまな説明会も開催されているが出席できない状況にある。このように、介護保険のサービス周知が充分ではないと考えるがどうか。また今後、老老介護も増加していくことが予想されているが高齢者の実態把握はどうなっているのか。
(事務局) 独居高齢者や、高齢者世帯の実態把握が充分でない点については最重要の課題と言えます。民生委員の方々とも連携し、介護を必要としている高齢者の把握に努めていきたいと思っております。
- ・ 越智委員 浜益地域包括支援センターからの報告にある『くもん式脳の健康教室「いきいき楽習」』に出席される方の年齢層はどうなっているのか。
(事務局) 参加される方の年齢はおおよそ 70~80 代後半までの方となっております。
- ・ 橋本会長 当該教室ではサポーター 3 名の協力が得られたとあるが、この方々はボランティアの方なのか。
(事務局) 交通費程度の支給はしておりますが皆様ボランティアの方々です。また、当

該教室の開催に際し、事前に講習会を受けていただくことで、知識の醸成を図りました。

- ・小川委員 私は民生委員として、月に1度は独居高齢者宅を訪問する。それが困難な時であっても少なくとも電話での安否確認は実施している。これにより高齢者実態調査に繋がられないだろうか。
- ・越智委員 最近は個人情報保護の観点から、民生委員の方であっても担当されている高齢者の実態を明るみにできない状況にあり、これを実態調査に繋げるのは困難と考える。

(事務局) やはり、石狩市としましても高齢者の実態調査は充分行われていないことを痛感しておりますので、最重要課題として取り組む所存です。そして、新年度からは「りんくるプラン」の下、地域福祉の実現に向け更なる努力が求められることと思っております。また、高齢者を守るという観点において、独居高齢者や高齢者世帯向けの「S救キット」という商品の設置も推奨しております。これは、自らの日頃の身体状況等の情報が入った容器であり、これを設置することで、万が一病気や怪我等で倒れられた場合であっても適切な救護及び医療行為の一助となることが期待されております。

平成22年2月24日 議事録確定

会長署名 橋本伸也